コクゴのチカラ

Vol.55

松桜塾　662-0036　西宮市大井手町 3-11 夙川ビル 2F
TEL 0798-74-2801　FAX 0798-74-8686
info@glt-shouou.com　http://www.glt-shouou.com/
2025年6月20日発行(第55号)

算数　特別講座

算数講師ミスターDからの挑戦状
～算数に必要な力を手にいれろ～

2025

今年もやります!!　夏の人気算数講座!!
ミスターDがパワーアップして帰ってきた！　各ステージで容赦なく問題を突きつけてくる強敵をやっつけろ！　算数勇者になって自信と称号を手にしよう！

第1ステージ　数・計算　8月5日(火)
1日目の「数・計算」は、計算が不得意な人だけでなく、算数全般が苦手な人にもお勧めです。数の感覚を磨くには、まず面白くてのめり込むような問題をたくさん解くこと。敵をどんどん倒していきましょう。

第2ステージ　図形　8月7日(木)
2日目の「図形」のステージは、図形センスとの戦いです。センスを磨くための重要な要素、「よく観察する」「手を動かす」これらを駆使して難敵に立ち向かいましょう。

第3ステージ　文章題　8月8日(金)
3日目は、最終ステージの「文章題」。問題文から敵を倒すための手がかりを探し出していきます。問題を丁寧に読む意識、必要な条件を見つける力が手に入るチャンス！君はラスボスまで辿りつけるか!?

各日ともに　時間：13時45分～15時5分
料金：2,200円(税込)／各回
対象：小3～小5
定員：8人

夏期特別講座　一覧

自由研究にも使える！　パステルアート

日時：8月6日(水)　13時45分～15時5分
料金：3,850円(税込)
対象：小2以上(塾外生・大人も可)
講師：濱野さえこ　先生
日本パステルアート協会認定・パステルなごみアートインストラクター

博士の理科実験

日時：8月4日(月)　13時45分～15時5分
料金：2,750円(税込)
対象：小4～小6(塾外生も可)

古文・漢文講座

日時：7月9日(水)・12日(土)スタート　全5回
古文　土曜　15時30分～17時
漢文　水曜・土曜　19時～20時30分
※単発受講可（但し、初回は必須）
料金：各回6,875円(税込)
対象：学校で古典文法を習った方（塾外生も可）

※各講座、詳細は内面をご覧下さい

各講座お申込みは下記ホームページよりどうぞ

公開講座

松桜塾公開講座　@安井市民館
「あっという間の読書感想文講座」

昨年好評いただいた公民館での公開講座を今年も開催いたします。読み方、書き方が分かれば、苦手だと思っていた読書感想文もすらすら書き上げられ、書くことに自信もつきます。感想文が楽しくなるコツをぜひ知りにきてください。

日時：7月27日(日)
小3・小4　10時30分～12時
小5・小6　13時～14時30分
※必ず親子でご参加ください

費用：参加費　無料　／　教材費　500円(税込)
場所：安井市民館　会議室(西宮市安井町2-4)
JRさくら夙川駅徒歩3分

場所は変更となる可能性があります。お申込みはホームページよりどうぞ

最後までお読みいただきありがとうございました。ご意見・ご感想などぜひお聞かせください。また、本紙の送付がご不要の場合、下記QRコードよりお手続きください。

夏　休みには読書を学ぼう

先日NHKで「ヒロシマ　世界を動かした2人の少女」という番組を見ました。その中で紹介のあったエレノア・コア作「サダコと千羽鶴」は有名なので、多くの方がご存じでしょう。若く希望溢れたさ中に原爆症を発症し、それでも最後まで生きる希望を失わずにいた少女の話です。この話は世界で翻訳され、核廃絶の動きを進めることになりました。科学的データ以上に核兵器や戦争の抑止力になっているのは、そうしたストーリーです。一つ一つの具体的で感情を伴ったストーリーが、読後の人の行動を方向づけます。文学の力はここにあります。

また、文学は過去から教訓を得るだけでなく、未来の予測をすることも可能です。ジョージ・オーウェルの「一九八四」は1948年に発表されたディストピア小説ですが、画面（テレスクリーン）を見続けて無気力無批判になる人々は現代社会を映しているようです。カズオ・イシグロの「クララとお日さま」も高度なAIロボットやゲノム編集された人間との付き合い方を仮想しています。読書は未来をのぞき見でき、普段の生活では気づけない、しかし絶対に考えておくべき、来るべき時代の生き方・人間の定義まで考えさせてくれます。

しかし、読書はかなり知的能力が要求されます。言葉や文脈そのものを正しく読み取るために、語彙や体験が必要で、心情や情景、場面をきちんと理解するだけでも高い知能が必要です。登場人物の人間関係、ひとつひとつの出来事、セリフや行動の含意、すべて頭におきながら現在進行形で読み進め自分の中でつなげていかなくてはいけません。

また、読書には技術も必要です。ただただ娯楽として読むだけでも悪くはないのですが、上記のような何かのテーマとその答えを自分なりに見つけ出すことは、やはり多くの読書経験や読み取り方の指導なくしては難しいでしょう。

国語のテストが苦手な人は、どうしてそれが答えになるのか納得いかないといいます。実は、それはごくもっともな反発です。テストでは、選択肢や模範解答としてそれとなく一つにしてしまっていますが、本来テキストの解釈は一つではなく、ある言葉や全体の文脈から「ありえない」もの以外はすべて正解です。読書ならば、自由な解釈と深読みを可能にしながら、読解力を高めます。

「読める」ようになる作業は、人を鍛え、ものの見え方を美しくも深くもしてくれます。先日、文学の読み取りに励んでいる男の子が、ひとつひとつの言葉や表現の奥に含まれる美しさや暗示がわかってきて、本を読むことがとても楽しくなってきたと語ってくれました。この夏、親子で時間をかけて、文学書にも手を伸ばし、深い読書体験をしてみませんか。（松末）

一面　『夏休みには読書を学ぼう』
二面　『読書感想文　作品紹介』
　　『夏期講習のお知らせ』
四面　『算数　特別講座』
　　『夏期特別講座　一覧』
　　『公開講座』

読書感想文　作品紹介

昨年の読書感想文コース受講生の作品をご紹介します。時間をかけて考え抜き、書き上げた文章は書き手に自信を与えてくれますし、読み手にも訴えかけるものがあります。ぜひこの夏、皆さんも感想文にチャレンジしてみてください。

『すずさんとの約束』　小4　F・Gくん

ぼくは『いつかの約束 1945』を読みました。れきし好きのぼくには 1945 という数字が終戦の年だとすぐにピンときました。だから、戦争についての物語なのかときょうみをもちました。しかし、読んでみるとぼくと同じような年の子たちが主人公でした。そして、その女の子たちが「自分は九才だ」と言いはるおばあちゃんに出会います。実は、おばあさんはすずさんといってにんちしょうで頭が九才にもどっていました。そのころは、戦争中でそれが 1945 の意味だったのです。すずさんは平和な今の町を見ておどろいていました。そして、公民館の戦争展に「いつかの約束」という絵を描いていました。平和をきずくのだというすずさんの気持ちが伝わってきました。

公民館で戦争展をやっているということにぼくはきょうみを持ちました。本の中では、お年寄りが自分の戦争体験を絵に描いて展示していました。子どものころにかかったものが描かれていて、写真より絵の方が描いた人の気持ちがより伝わってくるように思います。ぼくは今までそういう戦争展を見る機会がありませんでした。そこで、もしかしたら、自分の身近でも戦争展があるのではないかと調べてみました。すると、芦屋市役所で「たゆまぬ平和への歩み展」という展示をやっているのを見つけました。こんな身近でやっているなんて知らなかったので、びっくりしました。

そして、僕も行ってみました。そこで、戦時中の新聞を見ました。「体をきたえよう」と男の子が竹の刀で戦う練習をしていました。しかし、その子の体はがりがりにやせていました。きっとご飯が食べられなかったのだと思います。そんな力が出ないじょうたいでくんれんしても意味がないのに、つらかったはずです。学校では他に紙を作ったり、はげましの手紙などを送っていました。学校は勉強する場所ではなく子どもたちは戦争の手伝いをしていたのだと知りました。

自分のやりたいこともできないなんて、今のぼくの日じょうと全然ちがっていてショックをうけました。ぼくならたえられません。でも、これは80年ほど前に実際にあったことです。しかも、今ぼくが住んでいるこの芦屋での出来事です。今の芦屋は自然ゆたかでお店もいっぱいあります。それに、きれいなお家もあって自まんの町です。学校では自分のやりたいことができて、友だちとも好きなだけ遊べます。おなかがすけば、おばあちゃんがご飯を作ってくれます。おかしや飲み物も好きなだけ食べられます。どれも当たり前のことで気にもしませんでした。でも、この本を読んでぼくがこんな風に平和にくらしている町はだれかが作ってくれたものだと気づきました。戦争を体けんした人たちが平和を目指して自分ができることをしてきずき上げたのです。この町を79年前のようなやけ野原にもどしてはいけません。

これから、ぼくも「平和を作るいろんな人」の一人になろうと思います。それがすずさんとの約束です。

自由研究にも使える！　パステルアート

毎年恒例の人気講座、今年も開講いたします。この講座では先生が作ってくれた下絵に指で色をのせていき作品を仕上げます。好きな色に塗っていくだけなので、絵が苦手な人でも十分楽しめます。夏休みの自由課題としても使えます。

日時：　8月6日(水)　13時45分～15時5分
料金：　3,850円(税込)
対象：　小2以上(塾外生・大人も可)
講師：　濱野さえこ　先生
日本パステルアート協会認定・パステルなごみアートインストラクター

こんな作品をつくることができるよ！

博士の理科実験

身の回りの不思議を解き明かそう！　今年も理科実験の講座を開講いたします。実験に興味がある人はもちろん、特製シートに沿って実験内容をまとめていくため、まとまった文章を書く練習をしたい人にもおすすめです。夏休みの宿題を一気に仕上げてしまいましょう。

日時：　8月4日(月)　13時45分～15時5分
料金：　2,750円(税込)
対象：　小4以上(塾外生も可)

古文・漢文講座

古文・漢文にお悩みの皆さんにおすすめの講座です。この講座では、古典常識や文法など古典・漢文を読む上で必要な知識を基礎から学んでいきます。そして、それを用いて初見の文章でも理解できるようになるのが目標です。ぜひ、この機会をご利用ください。

※第1回は必須ですが、以降は単発受講可能です。

場所：　松桜塾　2階
定員：　各回　6名
料金：　各回　6,875円(税込)　※塾生は振替利用可
対象：　学校で古典文法を習った方　(塾外生も可)

各講座お申込みは下記ホームページよりどうぞ

古文	土曜 15:30～17:00			
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
7/12(土)	7/19(土)	7/26(土)	8/2(土)	8/16(土)
主語を見極める①	主語を見極める②（敬語法）	助動詞①	助動詞②助詞	和歌

漢文	水曜・土曜　19:00～20:30			
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
7/9(水)	7/16(水)	7/23(水)	7/30(水)	8/9(水)
7/12(土)	7/19(土)	7/26(土)	8/2(土)	8/16(土)
基本文型 否定／疑問	疑問詞 前置詞・接続詞 存現文	形容詞・副詞 助動詞（可能・認定）	使役・受身 過去・未来	条件文 言到

※ 漢文は各回どちらかご都合の良い日を選んでご受講ください。
※ どちらの講座も第１回は必ず受講してください。

夏期講習のお知らせ

夏期授業コース【国語】【算数・数学】

考えを文章化する訓練をくり返すと、頭の中が整然とし、それが思考力として身につきます。ただ闇雲に書くのではなく、学力に直結する正しい方法を学べます。

長い夏休み。普段は通えない方も松桜塾の授業を体験しませんか。お好きな日時で４回お取りください。

●ベーシックコース【小1～小4】
60分×4回　受講料 22,000円(税込)
●スタンダードコース【小5～高2】
90分×4回　受講料 27,500円(税込)

作文・感想文コース

毎年好評の読書感想文コースです。読んだ本を元にじっくり考え、自分の感想や意見を書き上げていきます。深く考え抜く作業は学力アップにつながりますよ。

●小1・小2 コース
60分×3回　受講料 16,500円(税込)
●小3・小4 コース
60分×4回　受講料 23,100円(税込)
●小5・小6・中高生 コース
90分×3回　受講料 21,450円(税込)

※各コース別途施設費が必要です。
※課題内容・指定字数によっては、授業回数を追加いただく場合があります。

お申込みはホームページよりどうぞ

ライブラリ紹介 55

『アマガエルと暮らす』
対象学年／小学校中学年～

「カエル」と聞いて、どういった印象を抱きますか。わたしの場合は、「気持ち悪い」。子供のころからなんだか好きになれない生き物でした。しかし、意外とかわいいのかもしれない、そう思わせてくれた本があります。それが今回ご紹介する『アマガエルと暮らす』です。

著者の山内さんは十四年もの間アマガエルと暮らしていました。飼育下のカエルはそんなに長く生きるのかと驚きましたし、山内さんの丁寧な観察から分かってくるカエルの生態にも興味がわいてきました。(死んだように見えても生き返ることだってあるようです！)そして、なんといっても著者の視点から見えてくるカエルのかわいらしさ。カエルを大切に思う著者の気持ちにあふれた文章は、私には見えていなかった本当のカエルの姿を明らかにしてくれました。

苦手だ、嫌いだ、というのはよく知らないがゆえに起こる感情なのかもしれません。じっくり観察したり、それについて書かれた本を読んだりすることで、一気に世界が広がることもあるはずです。物語以外はふだん読まないという方も夏休みを利用して、ぜひ新しい一冊を手に取っていただければと思います。

山内祥子　著
福音館書店